

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公表番号】特表2007-502805(P2007-502805A)

【公表日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-006

【出願番号】特願2006-523678(P2006-523678)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/232	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/232	
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月13日(2007.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

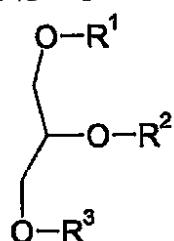
【特許請求の範囲】

【請求項1】

1以上の脂肪酸部分でエステル化されたグリセロール部分を含む特定構造の脂質グリセリドを含む、多発性硬化症を処置するための、多発性硬化症の処置用の医薬の製造のための、医薬組成物であって、

以下の式II

【化1】



(式中、R<sup>1</sup>およびR<sup>3</sup>は、同一でありそして、-CO-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-CH<sub>3</sub>(nは4~14から選択される)であり、そして

R<sup>2</sup>は、-リノレノイル残基及びジホモ-リノレノイル残基から選択される)

の脂質であることを特徴とする、  
前記医薬組成物。

【請求項 2】

医薬が、患者の末梢血単核細胞から自然放出されたTGF- 1 / TNF 比を健全なレベルに回復させる、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

医薬が C N S 病変を修復する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

医薬が筋痙攣および / または痛みを軽減する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

医薬が再発を排除する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

医薬が 1 年の処置期間で E D S S スコアを少なくとも 1 単位改善する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

医薬が、患者の 2 . 5 より高い E D S S を 1 年の処置期間で 2 未満に回復する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

医薬が膀胱制御を改善する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

脂質の投与量が 1 日 1 ないし 2 0 g の間であることを特徴とする、請求項 1 - 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

脂質の投与量が 1 日 3 ないし 5 g の間であることを特徴とする、請求項 1 - 9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

脂質が、

グリセロール 1,3-ジデカノエート-2-オクタデカトリ (6-Z,9-Z,12-Z) エノエート、及び

グリセロール 1,3-ジデカノエート-2-エイコサ-(8Z,11Z,14Z)-トリエノエート

から選択されることを特徴とする、請求項 1 ないし 1 0 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。